

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和3年6月29日

はや7月です

早いもので1学期も残り少なくなってきました。今年の1学期の終業式は7月20日です。授業日数だけで言うと今週の月曜日から数えると17日となります。

コロナ禍の影響で昨年度までとは言いませんが、ずいぶんな規制をかけながらの1学期でした。児童のトラブルも含めて大なり小なりの出来事はありませんでしたが、子ども達は元気に登校してくれて、学びに向かってくれていることをうれしく思います。

7月と言えば、東京オリンピックが開催されます。一部競技が開会式前に始まりますが、オリンピック開催日は23日金曜日です。

それぞれの立場で東京オリンピック・パラリンピックを迎えると思いますが、参加する選手は力を発揮できること、無事にオリンピック・パラリンピックが終わることを祈るばかりです。

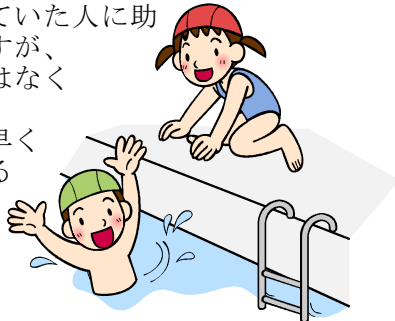
先日、『清水の子を守り育てる会』の第一回目がありました。児童、PTA、地域、関係機関の人達が集まっていたいただき、児童会の役員から清水小学校の取り組みについて報告がありました。

とてもはっきりした声で、清水小学校の児童会が大切に取り組んでいることを話してくれましたが、参加者からは、しっかりとした考えを持って取り組んでいることをほめていただきました。

さてその中で、清水小学校が防災学習に重点を置いて、地域と共に取り組んでいきたいことについても話をする中で、委員の方からは「命を守る教育は防災だけでなく、日々の生活の中にも気をつけることがあります。水の事故等もあります。学校ではどうなっていますか？」という意見がありました。

先週末にも悲しい水の事故があったようで、大阪府の淀川では、子ども達だけで川に行って1名は近くで釣りをしていた人に助けられたみたいですが、もう1名の子はなくなりました。

学校では、ただ早く泳ぐを目指しているのではなく、水泳指導の中で命を守るための学習を進めています。実際にはプールであつても怖がって泳げない児童がいるのは確かです。1学期には泳力を付けるため、泳げるようになるための指導を行い、2学期には着衣水泳も予



定しています。

いざというときに慌てなくてもいい行動をとれるようにこれからは指導をしていきますが、【子ども達だけで行かない】、【行き先をしっかりと伝えて遊びに行く】なども重要になるため、ぜひご家庭でも一声かけておいてください。

よろしくお祈りいたします。

『大丈夫です!』…『どこが?』

「大丈夫です。」この言葉からは、いろんなことが連想されると思いますが、この言葉の前にはどんなやりとりがあると思いますか。

誰かが心配をして、声をかけている様子が浮かんで来るのではないかと思います…

実は、この会話のやりとりは、プールを終えた6年生が犬走りのところを裸足で走っていて、玄関からそのまま教室に上がろうとしている様子を見て、「おいおい、スリッパは?はかんといかんろ?」と声をかけると「大丈夫!!」と返事が返ってきたのです。(おいおい大丈夫!?ケガをするから…だけを言っているのではない。裸足で外を走ってきて、そのまま家の中に入るか?ってことだよ。)
「大丈夫ではない、濡れた足で走ってきて汚れたまま学校に上がったらいかんと注意しようがよ。」と言ってもやっぱり「大丈夫。」と返事をする子どもや聞こえていないのか、はたまた悪いことと知っているから聞こえないふりをしているのか、そのまま走って教室まで上がる児童などさまざまです。(中にはスリッパを忘れてきている児童もいますが…)

「大丈夫」は言葉の受け取りかたで大きな違いがあることがわかります。こちらの感じてほしいこと、考えてほしい行動とはずいぶん違います。

そんなことと思うかも知れませんが、一つひとつの積み重ねは時間もかかり大変なものです。崩れるのは早いものです。保護者のみなさんは、子どもが外で遊んで濡れて汚れた足で帰ってきて、上がろうとしたらどう声をかけますか?ぜひ「あなたはどうか?」と聞いてみてください。

食育を考える

土佐清水市が給食になって3年が過ぎました。

6月の中頃、清水小学校では給食委員会を中心として残食0プロジェクトに取り組みました。

学級毎に残食0を目指して取り組んだ結果、全学級の半分がほぼ残食0という結果になりました。

人によって食べる量は違うし、好き嫌いがあります。またアレルギー体質の人もおり、取り組むには大変なこともあります。給食センターで美味しく食べられるように工夫し調理してくれていることに感謝しながら、しっかりと食べることができました。

人が生きていくためには『食』は重要なものです。バランスのとれた食事をしっかりととり、これからの暑い夏を乗り切れるように『食』について考えていきたいものです。

